



アクトレス

NO. 109

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ



『『好き』の言葉に
救われる』

川崎 稚子
(天然求心カアルファ)

そこそこ大きな商売屋の、三人姉弟の真ん中です。第一子の姉は可愛がられ、弟の長男は期待をかけられ、第二子次女の私は案の定親の注目も受けず、更には父の友人等から『川崎さん家は二人姉弟だったよね?』としない者として扱われ、順調に根暗で気弱な虐められっ子で育ってきました。目立たずコソコソと過ごしていた小学1年生の時、学芸会の役決め学級会がありました。が、ちょうど学校を休んでいた私は余った端役に決まりました。芝居など自分には全く無関係な行事だった為キャストイングについて何の感情もなかったのですが、ある日全員で学芸会の練習をしていた時、担任の飯塚先生が突然「来年の学芸会は『オズの魔法使い』をやる事に決めた! ドロシーは川崎だ」と私に宣言したのです。面食らいました。出番も少なく、根暗で気弱な上に人前に出る事も言葉を発する事も出来ればしたく無い端役がちょうどいい私を、何故ドロシーに?! 意味が分からな過ぎて返事もせず固まっていたところ、更に先生は追い打ちをかけます。「川崎の芝居が好きなんだよな〜」



天然求心カアルファ第17回公演
「満月のガロア」
'19年11月15~17日
千種文化小劇場(ちくさ座)にて

生まれて初めて私をく見て)もらえた瞬間でした。生まれた時からお姉ちゃんのついで・弟の練習台・いてもいなくてもどっちでもいい子だった私に一筋の光がさし

たのです。誰かに(見て)もらえる事がこんなにも心震わすとは。単純な私は、好きと言ってもらった瞬間からお芝居に真剣に取り組む様になります。端役であろうが練習から100%の力で演じる。自分の台詞は1行だけでも、台本を読み込み全部覚える。クラスメイトが引くくらい熱意をもって練習をしていました。(しかし大概そういう子はいじめられます。ホント子どもってやつは…)

いじめられても負けない! 来年の学芸会はキャストイングが決まっている(先生が勝手に決めた)! 来年に向けて頑張るぞ!と意気込んで2年生に進級した矢先、不運が訪れます。私の出身校は学校の制度的に1・2年生は同じ担任であるはずだったにも関わ



ストリートフェスティバル・イン・シズオカ
「天然即興劇場★インストフェス2016」
'16年11月26~27日
青葉シンボルロード芝居小屋ステージにて

らず、私の心を震わせた飯塚先生がご家庭の事情で離任する事になったのです。何より先生と『オズの魔法使い』が出来ない事にショックを受けた私は、かなりのネガティブを発動し塞ぎ込みました。やっぱり私のような者に光はささないのだ。そしてネガティブになり過ぎて1周したところで、離任式の日飯塚先生に宣言しました。「先生がいなくても私はお芝居を続ける。いつかお芝居を見に来て下さい!」と。私の演劇人生がポジティブに始まりました。

8歳の時に、どういう形であれ一生芝居をしようとしてから36年。様々な理由でお芝居が出来ない時もありました。2020年もそうでした。感動を与える・勇気をあげるなんて烏滸がましい事は言えません、誰かに「好き」を生んでもらう為にお芝居を続けています。まだいける、まだやれる、生きている限りお芝居を続ける気持ちは「川崎の芝居が好き」と言われた時からブレしていません。

トピックス

「禍」

神谷尚吾 (劇団B級遊撃隊/演出家/神谷商会店主)



コロナ禍です

2021/1/16(木)にこの原稿を書いています。新聞の見出しには『新型コロナ国内確認から1年』『愛知352岐阜78三重45』という文字が躍ってます。

コロナ禍です

久しぶりのB級遊撃隊の公演、外部演出も中止になりました。学校の授業も4月5月休講になりました。

コロナ禍です

神谷商会で『熱闘朗読会-8時だヨ!全員集合~』をやりました。Zoom勉強しました。YouTube勉強しました。流行りものに手を出し、流行りものに手を焼きました。数少ない演劇人の知り合い佃、関戸、鹿目、八代に助けてもらいました。Zoom上ではありませんが新しい出会いもありました。

コロナ禍です

観劇の形が変わるんじゃないだろうか?無観客公演、ソーシャルディスタンス公演。配信公演は、もう当たり前になっているのかな。演劇人の常識が他分野の参入で、演劇の常識が非常識になるのかもしれない。

コロナ禍だから

ある日、ある場所で、ある劇団のある芝居を観ました。観ているうちにある想いに気づきました。『ライブ感』です。なんともシンプルな想い。頭で考えた思いが、心で想いになりました。コロナ禍だから余分な考えが削ぎ落とされたんだと思います。

『ライブ感』抽象的なことばですが、自分なりに『命がけで生きること』それを具体化することが、自分の演出スタイルだと再確認しました。

コロナ禍だから

今、B級遊撃隊で戯曲の読書会みたいな事をやっています。セリフを交わすのが楽しく楽しいんです。セリフを音にすることで、虚構の世界に行けることを無邪気に楽しんでます。コロナ禍だから気づいたことです。今までだったら小難しい事ばかり気になっていたでしょう。

コロナ禍だからこそ

「もっとリラックスしよう、もっとシンプルに生きよう、たまには馬鹿になり、無鉄砲な事をして、人生に潤いや活気、情熱や楽しさを取り戻そう。

人生は完璧にはいかない、だからこそ、生きがいがある。」

(ピーター・ドラッカー-95歳の詩※)

※作者諸説あり



劇団B級遊撃隊
「不都合な王子」
'17年11月18~19日
千種文化小劇場(ちくさ座)にて

アクテノン・シャワー

劇場紹介「場所の力」円頓寺 Les Piliers【加藤智宏 (office Perky pat)】

2016年、円頓寺Les Piliers(えんどうじレピリエ)は築百年とも言われる長屋の一角に作られた。壁一枚でお隣さまとつながる空間では音も振動も気を使う。その上、舞台上には柱が二本立っている(Pilierはフランス語の「柱」の意)。そうした枷がある場所を如何に使うのが創作する上で面白い。また狭さ故に客席数も少ない(通常は24人程度、COVID-19感染対策の今は14人程度)。多くのお客さまに作品を見ていただくためには公演を重ねるしかない。それは俳優やスタッフの経験値を上げることになるのではないかと考えている。この場所で作品と向き合いながら丹念に創作する。そんな場所を目指している。



アクテノン利用団体紹介

- ① 発足年
- ② 団員数
- ③ 主な上演作品/会場 (上演年)
- ④ 連絡先

演劇 コンブリ団 with 三毛猫倶楽部



名古屋・岐阜で活動する舞台俳優、栗木己義、空沢しんかと、関西・三重で活動する、はしぐちしんが、共演舞台をきっかけに意気投合。そこへ共通の知人である、長尾みゆきが加わり、新たな演劇創造の場として発足。お互いの俳優としての身体性を理解している間柄だからこそ出来る演劇作品の創作を目指すユニットです。

2020年12月「東の海の彼方」(作・はしぐちしん)をG/PITにて上演。今後の活動は、twitter(@mikenekoconburi)やwebサイトをご覧ください。

- ①2019年
 - ②4名
 - ③『東の海の彼方』/G/PIT('20年)
 - ④はしぐちしん
- HP: <https://mikenekoconburi.wixsite.com/mikenekoconburi>
E-mail: mikenekoconburi@yahoo.co.jp



編集発行/令和3年2月25日(年4回)

名古屋文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



「友の会」会員募集中!
<http://www.bunka758.or.jp/>



施設からの
情報を
ご覧いただけ
ます!

